

## 令和6年新潟県内3国立大学法人工事入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和6年11月1日（金） 新潟大学松風会館第2会議室	
委員	委員長 内山 智絵（内山会計事務所 公認会計士） 委員 高橋 清（高橋空間設計 建築士） 委員 五十嵐 広明（伊津・五十嵐法律事務所 弁護士）	
審議対象期間	令和5年7月1日～令和6年6月30日	
抽出案件（合計）	5件	（備考）
建設工事・業務（小計）	4件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
一般競争入札 （政府調達に関する協定適用対象工事・業務）	1件	
一般競争入札（上記工事・業務を除く）	1件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	2件	
設計・コンサルティング業務（小計）	1件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	
最低価格落札方式	0件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

意見一質問	回答
<p><b>議事に先立ち、新潟大学施設管理部長の挨拶のあと、委員紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監事は所用により欠席。</li> </ul> <p><b>議題1、議題2について説明</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約対象期間は令和5年7月1日から令和6年6月30日に契約した建設工事及び設計コンサルティング業務の審議対象工事案件が対象。</li> <li>・ 対象契約件数、契約状況、抽出要件、工種別応札者数等の説明。</li> </ul> <p><b>抽出案件の審議</b></p> <p><b>「①新潟大学（旭町）医歯学総合病院西病棟等照明設備改修工事」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低入札価格調査の基準額はいくらか。</li> <li>・ 本件が、低入札になった要因は何か。</li> <li>・ 予定価格を作成する際、資材費等はどのように積算したのか。</li> </ul> <p><b>【②新潟大学（五十嵐）教育学系A・C棟改修工事【再度入札公告】】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2回入札を行って落札者がいなかったということは、予定価格が低かったと思われるが、要因は何か。</li> <li>・ 再公告では、当初公告と要件は変更したか。</li> <li>・ 見積合せは入札参加した業者のみで行うのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直接工事費、一般管理費等それぞれ公共建築工事積算基準で定められた割合をかけて算出しているため、案件ごとに違う。</li> <li>・ ヒアリングを行ったところ、資材等が長年の取引業者の協力により、安価に仕入れることができたことが主な要因である。</li> <li>・ 資材は、物価資料等を用いている。工賃は、公共基準の歩掛りに基づいて算出している。</li> <li>・ 公共基準に則り、物価資料等を用いて積算している単価と業者の見積に大きな開きがあった。物価資料と市場の価格上昇に乖離があったと思われる。</li> <li>・ 当初公告では、同種工事の施工実績の規模を求めていたが、再公告では規模は問わないとした。</li> <li>・ 基本的には、一番安価だった業者と価格交渉を行い、折り合わなければ次順位の業者と交渉する。</li> </ul>

意見一質問	回答
<p>・ 1回目と2回目の予定価格が異なっているが、どのような見直しがあったのか。</p> <p>・ 2回目は、8者から資料請求があり、前回入札に参加した業者も含まれていたということだが、入札に参加したのは1者であった理由として考えられるのは何か。</p> <p><b>「③新潟大学（旭町）ヒト脳科学・ヘルスイノベーションセンター（仮称）新営工事」</b></p> <p>・ 本件の申請者は2者だったが、入札は1者のみだった理由は何か。</p> <p>・ 工期が延長になった理由は何か。</p> <p><b>「④長岡技術科学大学（上富岡町）DXRものづくりオープンイノベーションセンター（仮称）新営工事」</b></p> <p>・ 施工期間が短いことで、再度公告でも応札者がなかったとのことだったが、工期の延長はしなかったのか。</p> <p>・ 当初計画である4階建てを3階建てに修正したのは問題なかったか。</p> <p>・ 設計・施工一括型発注だと、技術者を確保することが難しくなると思われるが、分割して再公告することは検討しなかったか。</p>	<p>・ 1回目の予定価格と入札金額の乖離があったため、市場調査を行ったところ、内装材価格、作業員工賃の上昇があったため実情に合わせて変更した。</p> <p>・ 資料請求したが入札には参加しなかった業者に確認したところ、工期や他の案件との関係で技術者の配置が難しいということだった。</p> <p>・ 入札しなかった1者に確認したところ、特殊なエレベーターが設計に入っており、製作期間がかかることにより、納期が間に合わないと判断したとのこと。代理店の関係で入札した1者と違いが出たと思われる。</p> <p>・ 補助金の繰越手続き上の関係で延長した。公告にも延長する旨明記している。</p> <p>・ 本件は、経済産業省の補助金であり履行期限が決まっていた。その後、経済産業省から、令和6年度末まで工期延長を認めてもらった。工事は、令和7年1月で完了予定であり、順調に進んでいる。</p> <p>・ 変更申請をしている。補助の目的「ものづくりオープンイノベーションセンターを新営すること」から外れておらず、規模の変更であれば問題ないとして認められている。</p> <p>・ 設計・施工一括型発注（デザインビルド方式）とすることで効率化を図り、事業実施期間に間に合わせることを目的としているため、分割は検討していない。</p>

意見一質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札者は共同事業体であるが、単独ではできなかつたのか。</li> <li>・工期が厳しいといった旨の質疑書は、落札者からしかなかつたか。</li> <li>・随意契約に移行した際は、まず落札者と協議したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は、共同事業体での参加も認めている。設計施工一体型であるため、業務の割り振り等共同事業体というかたちが適切だと判断したと思われる。</li> <li>・質疑書は、落札者からのみ提出があつた。いくつかの業者に聞き取りしたが、いずれも工期が厳しいという回答だつた。</li> <li>・本件に興味を示した2者に意向を聞いた。1者は、やはり工期が厳しく、社内体制上、リスクが大きいということで辞退した。落札者には、工期等リスクを含め説明した上で、随意契約した。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>「⑤上越教育大学総合研究棟（人文系） 昇降機設備改修工事」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格は、どのように算出したのか。</li> <li>・契約相手方以外からは見積書は聴取したか。</li> <li>・エレベーター一体のシステムを交換すると金額はかなり違ってくるか。</li> <li>・予定価格と落札価格にあまり差がないが、価格交渉は行つたのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接工事費までの見積書を製造者である契約相手方に聴取した。共通経費については、国土交通省の算出基準に基づき算出し、それらを合算した額を予定価格とした。直接工事費については、文部科学省のエレベーター工事のデータ集を基に逓減率を見積書の金額に乗じている。</li> <li>・対応できない旨の回答があつた。</li> <li>・一体のシステムを交換した場合の逓減率を乗じることになる。既存のレール等の撤去等があるので、大幅な金額増となる。</li> <li>・価格交渉は行っていない。内訳書を確認したところ、直接工事費は、本学が安く、共通経費は、契約相手方が安い内容であつた。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会より、再苦情処理の申し立てについて</li> </ul>	

意見－質問	回答
<p>は、該当案件なしとの報告があった。</p> <p><b>(講評事項)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 審議対象案件について、適切に処理されていた。</li><li>・ 審議対象工事説明資料の様式が変更され分かりやすくなった。</li><li>・ できるだけ競争入札になるよう、市場調査等をしていただきたい。</li></ul>	